

腰椎牽引装置 床置きタイプ

使用説明書

安全にご利用いただくために、必ずご使用前にお読みください。
また、いつでも読めるよう大切に保管しておいて下さい。

目次

用途	1
使用上の注意	1
商品の名称	2
組み立て方	2
設定方法	3
使用方法	4

用途

腰椎の牽引

使用上の注意

本使用説明書では安全に関わる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて次のように分類しています。

 **警告** 誤った使い方をすると、人が重症を負う可能性がある内容

 **注意** 誤った使い方をすると、人が軽傷を負うか、または本品以外の他の財物に損害を与える可能性がある内容

 **警告**

1. 牽引開始後腰痛がひどくなったり、しびれたような場合は、すぐに牽引を中止して医師に相談してください。
2. 小さい子供さんがのいる家庭では、子供さんの手に触れることのないよう管理してください。

商品の名称



※ 重り、重り袋、足置き台は別売りになります。

組み立て方



1. 土台(上)と土台(下)を接続してください。このとき必ず水平な床の上で行ってください。向きがありますので、ロッド取り付け口が写真のように土台の足に対して逆側になるように取り付けてください。また、奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。



2. 滑車付ロッドを土台の取り付け口に静かに挿入してください。向きがありますので、写真のように取り付けてください。



急に手を離すと滑車付ロッドが落下し、床を傷つけたり、怪我をしたりする恐れがありますので注意してください。



3. L字プレート（L-shaped plate）を滑車付ロッド（pulley rod）と土台（base）の取り付け口の間に差し込んでください。このとき、L字プレートが奥まで差し込まれていることを確認してください。



4. 高さ調整ネジ（height adjustment screw）を取り付け、しっかりと締め付けてください。

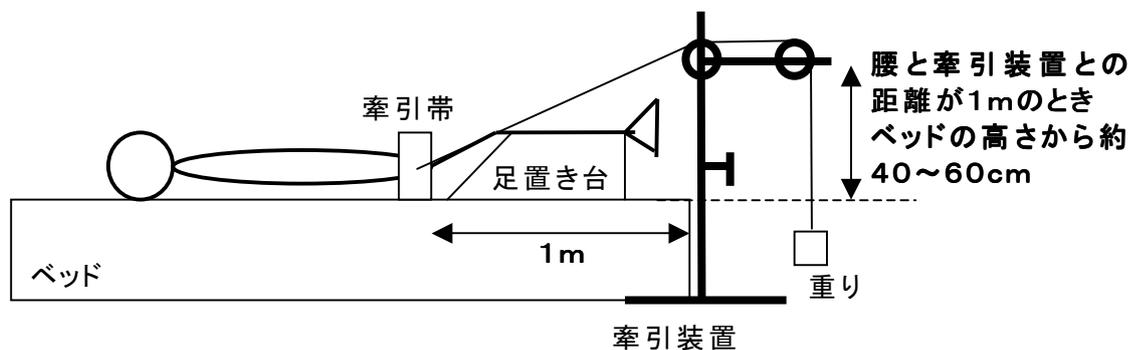


注意

締め付けが緩いと、滑車付ロッドが落下する恐れがありますのでご注意ください。

設定方法

1. 牽引装置（traction device）をベッドサイド（bedside）に設置してください。
2. 牽引の方向が 30° 上方になるように、牽引装置の高さを設定します。 30° の目安として、腰と牽引装置の距離を1mとしたとき、ベッドから牽引装置の滑車までの高さが約40~60cmとすればよいです。



注意

高さ調整は、重りを付けたままで行わないで下さい。滑車付ロッドが落下する恐れがあり危険です。

3. 腰椎牽引帯（lumbar traction belt）と重り（weight）をつなぎ、滑車（pulley）に通して下さい。このとき、ひも（rope）がきちんと滑車にかかっていることを確認してください。

使用方法

1. 重りを床に落とした状態で、ベッドに座り、腰椎牽引帯を装着してください。
2. 座った状態で頭方向に体をずらして重りをあげてください。牽引が開始されます。体の不自由な方や高齢者の方は、一人でしないで手伝ってもらってください。
3. 牽引中、重りが床についてしまわないように注意してください。床についたときは、また座って体をずらして重りを上げてください。時々腰を浮かせて引っ張られていることを確認してください。リラックスして、足をクッションなどで持ち上げると効果的です。(腰を浮かせやすくします。)また、体が足方向にずれやすい場合は、手すりなどにつかまるか、寝るところが足に向かって上がり傾斜になるように工夫してください。
4. 重りの重さは、病院で牽引されている方は病院の重りの重さと同じにしてください。病院で牽引をしていない方は、体重の3分の1の重さを超えないようにしてください。最初は10kgで1日2～3回、20～30分位から始めるのが普通です。
5. 長時間続けて牽引するときは5kg程度で牽引してください。



警告

10kg 以上で牽引する場合は、牽引中寝返りをうったり、寝てしまわないようにしてください。

商品のお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 長崎かなえ

住所:長崎県長崎市坂本 1 丁目 6-10

TEL:095-845-6255

FAX:095-845-6256